

食料支援をテーマに地域・社会をつなぐフードバンク

【事業費総額 7,174 千円（WAM 助成金 6,959 千円）】



多くの食品を寄贈していただきました



配布する食品を丁寧に詰めています

団体設立経緯

「食品ロス削減」と「食のセーフティネットの構築」を目的に、平成 30 年に団体を設立しました。

食品ロスを減らし、支援を必要としている人に繋げるため、食のセーフティネットを構築するために事業を実施しました。

事業実施内容

「フードドライブ普及プロジェクト」では、フードドライブの実施を考える企業や学校に向けてノウハウを提供し、あわせて、実施までのフォローを行うことにより、フードバンクや身近な貧困について関心を持ってもらう機会につながりました。

また、困窮世帯を対象に小包の発送やパントリー事業を実施し、特に、パントリー事業では嗜好性の高い食品や衣料品、雑貨等を直接選ぶことのできるブースの設置や、多くの食品の配布が可能となるようにアクセスの良い会場での実施回数を増やす等の工夫を講じ、多くの世帯に支援品を届けることができました。

さらに、食品の受け取りルートを拡大し、供給を安定させる取組みも実施したことにより、新規企業からの寄贈に係る問い合わせの増加にもつながりました。公式 LINE を使用し、迅速にマッチングすることにより、受け取り事業所や寄贈量の増加が可能となりました。

事業成果

「フードドライブ普及プロジェクト」では、7カ所の企業、学校や行政機関との協力体制を整え、小包の発送により 1,753 件、パントリー事業により 1,179 件の家庭に食品等を配布することができました。

また、「食品の受け取りルート拡大事業」では、37 の企業が新たに加わり、合計 87 の企業から食品等の寄贈がありました。

同事業に対する評価

現在実施している事業の維持、継続だけでなく、実施事業をもとに新たに相談支援を実施するなど、着実な事業実施とともに次なるステップを構想されている点を評価しています。

食料支援をきっかけとし相談支援につなげることにより、アウトリーチの機能を発揮できるため、活動を通じて見えてきた諸課題への対応を含め今後のさらなる活動に期待しています。

特定非営利活動法人
フードバンクイコロさっぽろ
(北海道札幌市)



URL <https://foodbank-ikorsapporo.themedia.jp/>